

HKFA

Technical Report



令和4(2022)年度北海道トレセンU-13・14キャンプ

1 事業の概要

● 主旨

- 北海道の中学生年代の優秀なサッカー選手の発掘と健全育成を目的とする。
- 全道各地区の指導者・選手の交流の場とする。
- 北海道の指導者・選手の研修会を通し、レベルアップを図る。
- トレーニングセンター制度の充実と発展を目指す。

● 日程

4月23日(土)～24日(日) 日帰り型
(宿泊希望制)

● 会場

札幌市東雁来公園人工芝サッカー場

U-13

権 五慎	北海道コンサドーレ札幌	藤田 愛稀	北海道コンサドーレ札幌
堂塚 修人	北湘南サッカースクール	鹿野 生真	北海道コンサドーレ旭川
吉村 瑛琉	北海道コンサドーレ札幌	古川 蒼空	北海道コンサドーレ札幌
松坂 泰志	北海道コンサドーレ札幌	井田 泰彰	北海道コンサドーレ札幌
伊藤 穂真	北海道コンサドーレ札幌	山越 崇真	Areaa
浜田 幸輔	北海道コンサドーレ札幌	砂川 翔夢	北海道コンサドーレ札幌
早川 来唯	北海道コンサドーレ旭川	菊池 耀生	北海道コンサドーレ札幌
山本 悠太	アンフィニ	原口 悠生	北海道コンサドーレ室蘭
岡村 将吾	札幌大谷中学校サッカー部	奥山 琉世	石狩FC
永田 瑛空	北斗市立上磯中学校サッカー部	森田 永秀	フィールズ
狩馬 夢胡	北海道コンサドーレ札幌	庭田 隼磨	SSS
泉原 琉緒	北海道コンサドーレ札幌	荒木 崇吾	札幌大谷中学校サッカー部
鈴木 黎 フィデリス	北海道コンサドーレ旭川	伊澤 瑛来	北海道コンサドーレ札幌
久保田 竜慧	北海道コンサドーレ釧路		

U-14

須藤 杏介	北海道コンサドーレ札幌	小平 響	アンフィニ
山神 徠	北海道コンサドーレ旭川	江利山 晃空	種内南中学校サッカー部
白髭 球仁	北海道コンサドーレ札幌	郡司 颯斗	北海道コンサドーレ室蘭
妻鳥 侑都	北海道コンサドーレ旭川	中 壺斗	札幌ジュニア
奥山 叶音	北海道コンサドーレ室蘭	徳差 優利	北海道コンサドーレ札幌
橋谷 楓大	北海道コンサドーレ札幌	渋谷 優里	北海道コンサドーレ室蘭
世原 悠	北海道コンサドーレ旭川	竹中 直弥	DOHTO
関 瞭斗	SSS	菅原 空優	EINS
大野 泰河	TRAUM	榎高 奏	名寄SC
竜 航太	アンフィニ	田村 歩夢	SSS
佐々木 瑛汰	北海道コンサドーレ札幌	多田 蒼生	北海道コンサドーレ札幌
佐藤 悠斗	北海道コンサドーレ釧路	菅原 稜太郎	北海道コンサドーレ室蘭
小田 琉生	アンフィニ	松本 大虎	アンフィニ
黒沼 蓮	プログレッソ十勝	大崎 祐輝	プログレッソ十勝
長崎 千蓮	プレイフル函館	森貴 隼真	プレイフル函館
茂治 咲磨	DOHTO		

白崎 健策	道南	全体統括チーフ・U-13	堀田 和志	医科学	ドクター
青山 剛	コンサ	Tアドバイザー	山根 裕司	医科学	トレーナー
池内 友彦	札幌	Tアドバイザー	岡地 光士郎	医科学	トレーナー
内藤 翼	札幌	U-13チーフ	鈴木 貴浩	JFA	
伊藤 佳史	道南	U-13	北原 次郎	JFA	
池田 裕哉	GK	U-13GK	徳田 恒徳	JFA	
田部 学	札幌	U-14チーフ	尾形 行亮	JFA	
保谷 達郎	道南	U-14	藤代 隆介	HKFA	
中野 拓也	GK	U-14GK			
宮本 英樹	道南	会計			
林山 信吾	技術	全体統括サブ			

2 U-13FP総括

今キャンプは2回のトレーニングしか行えないため、初日は「攻防」、2日目は「崩し」のテーマでトレーニングを実施した。初日の「攻防」のトレーニングでは、ON・OFFに関わらず「ゴールを目指す」、「ゴールを守る・ボールを奪う」プレーをし続けられるようにコーチングする中で、選手達は積極的にプレーすることができていたが、プレーし続けられるようになることを期待したい。2日目の「崩し」のトレーニングでは、前日のトレーニングを土台にして、より具体的にコーチングしていき、崩しの意図を持ったプレーが随所に見られたが、更なるテクニックの質の向上や味方や相手の動きから判断・行動し続けられるようになりたい。

3 U-13GK総括

今回招集された4名の選手は、積極的に向上心をもってトレーニングやゲームに取り組んでいた。初めは緊張感があったものの、2日目にはお互いの良い点や改善点を話し合う場面も見られた。

課題としては、まだまだテクニックが未熟な部分があるので日常のトレーニングから拘りをもって取り組んでほしい。また積極的にゲームに関わろうとしているが、一度プレーに関わって止まってしまっている場面があったので、連続して関わることや、高い位置から下がりながらのポジションを取る時に一回で正しい位置に入れられない場面が多くあったのでボールの移動中に観る習慣もつけてもらいたい。



4 U-14FP総括

23日午後と24日午前の2回のトレーニングをおこなった。1日目は「ゴール前の攻防」、2日目は「攻撃(崩し)」のテーマで参加選手に高いレベルでも気負いなく攻守に渡って戦い続ける意識と、個々の持つ攻撃におけるテクニックと判断に働きかける内容を強く求めた。時間の経過と共に、選手達は仲間を知り、その中で自身の良さをしようと、必死にかつ真剣な様子でサッカーを楽しんでいた。最後のトレーニングでは、2日間積み上げてきたことがプレーにも成果として見られた。

短縮開催ではあったが、レベルの高い選手達が多く刺激を受けたようで、今後に繋がるものを感じることができた。

5 U-14GK総括

4人とも意識が高く、互いに振り返ったり、指導者に質問するなど向上心をもって2日間トレーニングに取り組んでいた。ボールが遠い位置にある時に常に指示を出していたが、ボールに応じた細かいポジション移動が疎かになり、プレーが遅くなる時があった。常に正しいポジションを意識させ、予測しながらプレーすることで改善が見られた。ビルドアップでは、受ける位置の修正はできたが、パスの質の向上、優先順位の意識をすることの必要性を感じた。FPの一員として、さらに足元の技術も向上させて安定したビルドアップができるようになりたい。更にレベルアップした4人を今後も見ていきたい。



6 謝辞

今キャンプを開催するに当たっては、コロナ禍の影響が少なくない中で選手の参加を許可してくださった保護者の皆様・選手所属チーム代表者様に一番に感謝申し上げます。また活動を周囲で支えてくださった関係者の皆様にも重ねて感謝申し上げます。

今後も今回のような経験を積み上げながら、選手だけでなく我々スタッフも北海道サッカーの育成・強化・普及の発展を目指していきます。今後ともよろしく願いいたします。

[文責:(公財)北海道サッカー協会技術委員会U-14部会代表 白崎 健策]